

時事新報定價
時事新報一年三百六十五日一日休刊セテ其代價遞
送料廣告料ハ左ノ如シ
一號前金六圓
一號前金五圓
一號前金四圓
一號前金三圓
一號前金二圓
一號前金一圓
一號前金五角
一號前金二角五分
一號前金一角五分
一號前金一角
一號前金五分
一號前金二分五分

時事新報

人心新奇を説く
人の性質は人々に異なるが如くあれども之を平均して
全體を見れば都て變化と好むもの如し例へば食物に
しては毎日同様の物を進れば其物の平生の好物と稱す
る品にては數日を出でずして之を厭ふに至る可し婦人
が芝居を好む男子が角力を好むと云ふも毎日之を見物
せし先たらば是れ亦暫時にして厭ふることならん之に
反して山國の人が海を眺め海邊の人が山を見れば其だ
樂しき都人士が地方に遊び田舎漢が都會を見物するが
如き其風景事物の美惡厚薄に論ずる可し其悦ばざるは
亦自分の住宅も久しく住慣れば如何か勝手あまくして
他人の家は便利なるが如くと思はれれば何事に至りて
は同じ家の内にて簞笥長持書櫃等の諸道具と彼處此處
に置替れば家の廣狹に少くも變化のかけれども唯その
模様以前に異なるばかりにて一時大に便利なるが如
し此類の事相と計れば枚擧に遑ならず何れも人の性
質は事の停滯永續を悦ばずして其利害得失に論なく唯
變化を好むの事實を見るに足る可し此事實にして果て
て遠くと云ふれば國民が國の政治に就て變化を望む
るも誠其自然の心情にして假令其變化に由りて確に利
と可き見込みなき途にも唯事の以前に異なるを見て一
時の満足を得ずれば殆んど人生の天賦とも云ふ可きも
のからん冷然ある哲學流に論ずれば如何にも愚劣なる
第に實際の利益を以て見込なきに徒に事を變革する
は計り難きにこそある可けれど浮世は哲學者の集合
にあらざして寧ろ無分別の熱界とも名く可きものあり
ば唯この間に少くも分別ある人物が人心の變を察して
愚に處するの一法あるのみ徳川政府などは守舊一偏に
して何等の變化もせず唯書を保存して靜に日月を消
するの政府ありしかども大小官吏の更迭は常に日行は
れて甚だ賑はしく殊に執權の老中並に勘定奉行の如きは
其在職平均して三五年も過ぎず當時新聞紙は無かりし
世なれども更立たる役人の進退ある毎に購買の商賈
人は之を待ち構へ即日本版にして紙に摺り無数の賣子
は夕刻より夜中に掛け「御役人改まり云々」とて市中を
大聲に賣り廻れば毎日争ふて此紙片を買ひ以て夜話
評議の資にしたるは事實は故老の尙ほ記憶する所なら
ん即ち人心變化を悦ぶの體にして人間萬事不變不動を
主とする封建の世の中も尙且斯の如し左れば事柄
ころ殊なれども米國も毎四年に大統領の改選と共に
諸役人を一新して施政の趣と改め英國にて保守改選の
兩黨常に交代してかの一新主義を行ふが如く其事實
の政事にさしたる妙案はなる可きあれども唯書に傳
みて新に走るの人心と謂ふ可し其爲り難れの事實
ともなく自然に其國の慣行を成たることならんのと
依て竊に案するに方今我日本國に於て政治の變遷は種

々様なる様子なれども我輩は左まで之に關係せざる
が故に其是非利害を判斷するを好まず又實際に於ても
圓滿ならざる人間の智慧を以て政治に絶倫非常の妙案を
る可きにあらざれば少々づづの主義こそ異なれ正味の
處は大抵同様の直打ありとて敢て輕重するに非ざれ
ども前に云へる如く人情變化を悦ぶは事細大を問はず
時々の古今に論なく争ふ可きざるの事實なれば若しも
我政治上より好む機會もたらば政治家の新陳交代は甚だ
望まじき所のものあり但し爰に特に好む機會と記した
るは甚だ意味あるもにて我輩は政治上に新陳交代を
斯るも雖ども其交代は極めて圓滑なる時期をものなり
本來政府の事は國事の一部にして其政府の人物が
彼れ此れと交代して一時新政治を施すが如きは更に政
府中の一部分にして云はば國の細事件なれば此細事件
の爲めに人心の態度を高めて騒動するが如きは以ての
外の不祥あるが故に我政治家は其主義の異同を問はず
大膽洒落に去て雙方共に執念と去り政治に重きを置か
ずして容易に棄て復た容易に取り凡る三五年目には新
陳交代して毎に風波なからんも我輩の最も冀望する
所あり蓋し交代に好む機會とは即ち此の謂にして此機
會と作る者の政治上に分別ある人物ならんのみ

官報

府縣
○内務省訓令第四十八號
種痘検査員等ノ如キ一時限リ僱入ノモノ解僱ノトキハ
本年二月廿九日號ニ準リ旅費支給スベシ
明治廿九年十一月十七日 内務大臣伯耆山縣有朋
○海軍省訓令第二十號
海軍一般
醫學學校主計學校卒業ノ後候補生ヲ命セラレタル者ノ學
術検査ハ其成績ト各學校卒業試験ノ成績トヲ合算シテ
ルモノヲ以テ學術検査ノ優劣ヲ定ム
明治廿九年十一月十七日 海軍大臣伯耆西郷從道
○領事代理 長崎在留露國領事ハワルコスチレフ氏
今般賜暇を以て歸國するに付其不在中は函館在留露
國領事クレコワン、ハ、ウオヤン (Gergoie de Woll)
氏臨時代理せる旨露國公使より外務省へ通牒あり
○朝鮮種痘試養 東京府下谷區上野北大門町藤盛新
助は養蠶の事業に熱心し多年に經驗に富めるを以て去
る十六年中養蠶傳習の爲め來朝せる朝鮮人金永煥及趙
利秋が同人の居宅に寄寓し養蠶の飼養法を練習せたり
しが新助は曾て朝鮮種痘の佳長に於て蘇絲の本邦産に
比すれば練減りの少きを聞知し右二人歸國に際し其寄
贈を約したるも同年十二月彼國事務以來音信不通前約
を果さず仍て本年一月同國精選の黃白種各々五枚を購
買せんことを府廳へ出願せり府廳は釜山領事に照會し慶
尚道義城邑の養蠶地に於て白種三枚と該地の養蠶法と
を本年四月新助の下付したる新助之試養せよとに其成
果の結果不良にして飼養の望まなく本邦最上之ものに
及ばざるに似たりと云ふ今同人の飼育手續を察すれば
左に如し(桑付の量目回數養蠶計の度は省く)
五月七日發生生蠶量目一匁を以て飼育し六月十五日に
至る
一掃立ヨリ熟シ迄 桑量九十六貫九百八十目
一掃立ヨリ成蠶迄 日數三十九日
一掃立ヨリ四眠熟シ迄毎日一回ツ、除紗
一虫ニ三種アリ一種ハ黒クシテ本邦ニテ「山伏」ト
唱へ又其一種ハ青クシテ羽ノ如キ黒色アリ本邦ニテ
「矢ハス」ト唱へ又其一種ハ青クシテ黒キ横筋アリ本邦ニ
テ「横筋」ト唱へ
慶尚道義城邑養蠶地方に於て取調たる參考書は左の如
く
養蠶ノ時ニ至リ牛ノ「カイハ」ヲ食セシメ汁ノ冷
汁ニ漬シ土器ニ盛リ房中温暖ナル處ニ置キ而シテ桑
ノ葉ヲ絞リ津液ヲ出シ取り平均ニヌラスレハ自然ニ
ツタツキ其卵ヲ以テ刷ケハ自ツカガ成功云々
敷雨ノ時(舊三月二十七日乙卯)

牛ノ「カイハ」トハ大豆、米、糠、麥、糠、米皮、麥皮、一
所ニマセ焚キシモノナリ(其汁ノ冷汁ニ浸シ器ニ盛
ルナリ)
抑々釜山近傍に於て之種痘の得て廣すべし者なく全羅
慶尚二道は養蠶を以て名振る地方ありと雖も同國の例
とて獨り養蠶業に限らず何種業と雖も同業相集て
部露をす者なければ自然選遺の原種を出すのみから
ず數枚の蠶種を得るに方々數十里内外の各戸に就き漸
く蒐集せりと云ふ而して新助が收獲する所の蠶と飼養
の方法と本邦産の蠶種に得たる所を成蠶と併て領事
に送せり新助は彼の國の蠶種よみて本邦の産に比し
練減の少く生質の善長ありとの説あるを恐らく京城近
傍の種子あらんとて今般再び購入方と願出たり(東
京府)

○神奈川縣乳牛 神奈川縣に於て去月二十五日より
去る七日に至るの間各郡内牛乳搾取場(五十箇所)に留
置する乳牛を検査しるに乳牛四百三十五頭の内疾病
に罹りたるもの一頭あり其他は何等の異状もなし又日
下搾乳も得るもの二百四十頭にして其搾乳高一日
平均六十七四九分九厘なり(神奈川縣)
○鹿兒島縣大風暴風潮 鹿兒島縣管下大島に於て
は去月七日午前十一時頃より北東風吹起り遂に烈風雨
となり同日午後一時前後に於て最も猛烈と極め同夜半
に至りて吹雪今該島風雨に依り被害の景況を調査した
るに家屋全倒百九十九戸、同半倒二百九十九戸、倉庫全倒二十
戸、同半倒八戸、船破損七艘、同流失十艘、納屋全倒一戸、
同半倒一戸、製糖小屋破損百四十七軒、橋梁破損二千
七箇所、道路破損五十一箇所、堤防破損廿八箇所、田畑
缺損三畝二十歩、溺死二人にして諸作物は甘蔗、甘蔗等
は三分通りノ被害にして其他は甚しき障りなし(鹿
兒島縣)

○自殺統計 抑々自殺ノ調査ハ倫理上社會上及經濟上
ニ於テ一國民ノ狀態ヲ判定スルニ緊要ナル件ナルヲ以テ
既ニ數年前ヨリ官府統計事務ノ重要ナル任務トナレリ
而シテ自殺ノ全體ヲ調査スルハ甚ダ困難ナル業ナリト
雖モ李國ニ於テハ此件ニ關シ特別ノ調査ヲ得タル事實
ト死亡統計ニ對照シテ確實ナル統計ヲ製スルヲ得
ルニ至レリ千八百八十三年及同四年ニ於ケル自殺ハ既
ニ其調査アリシガ今同千八百八十五年ニ於ケル調査ノ
結果ヲ公ニセリ即チ左ノ如ク
千八百八十三年 男、九三三 女、二三八 合計 一、一六一
千八百八十四年 男、九八八 女、二七九 合計 一、二六七
千八百八十五年 男、一、〇〇一 女、二七九 合計 一、二八〇
是ニ由リテ之を見れば千八百八十四年ノ自殺ハ千八百
八十五年ニ比シテ四分三厘九毛ノ減少ナルモ千八百八
十五年ニ於テハ更ニ二分一厘七毛ヲ増加セリ凡ソ自
殺ノ原因中其三分一ハ精神病ニシテ其他ノ重ナル原
因ハ服生、悲哀、憂鬱、後海及身體ノ苦痛等ナリトシ
自殺ノ原因ヲ詳細ニ調査スルハ極ニ困難ナルヲ以テ
尙ホ未ダ其全體ノ原因ヲ悉ク表明シ得ルニ至ラズ千八
百八十五年ノ自殺統計ノ如キ其原因ヲ探究シ得タル
數ハ自殺總數ノ八割一分七厘五毛ニ止レリ即チ左表ノ
如ク

Table with columns for gender (男, 女) and age groups (原生, 少年, 青年, 壯年, 老年). It lists the number of suicides in each category for the years 1883, 1884, and 1885.

○岐阜有志親會
世間の大問題なる
府に建白する所あり
國に於て第三回有
たる由なるが其人
豪農商及大資本大
なりと云ふ
○神奈川縣會
通商會を開くと云
兵庫縣廳新築
物の朽蝕を生ずる
縣會へ提出せらる
悉皆地方税に賦課
と先般來梅若書記
々其費費中の幾
定したる處あり
○橋樑役所
以て新築に取替へ
今其工事中にて成
なるよし
○學事
高等小學校に臨み
借債の困難あり
ナリノ子に於て
めからず務めて
事實より取へ
上にて見聞せる
題を出す心掛け

○銅電信線の効用
一節に據れば前年
の銅線を用ひしに
一分時に通し得る
にて四百五十語
に於ては銅の消費
九月廿四日倫敦

○甲武鐵
當甲武鐵道株主中
御申出可被成放
可申也 本鐵道
甲武鐵

東京日本橋區南

明治生命保險會社
故海軍機關船八等 佐藤專一郎
十一月十九日午後一時芝區山崎十一番地出棺